

# 海外技術研修員受入事業

## 「海外技術研修員 受入事業」の概要

この事業は、開発途上国に対する技術協力の促進を図ることを目的に、昭和52年度から実施されている。これまで、中南米、東南アジア、アフリカ、中国などを中心に25ヶ国253人（平成11年度末現在）の研修員を受入れており、これら途上国が必要とする技術を研修員に習得してもらうことを通じそれぞれの国の経済開発に貢献しうる人材の育成を図っているほか、研修期間中の

研修員と道民等との交流を通じて各国との国際友好関係の一層の促進を目指している。

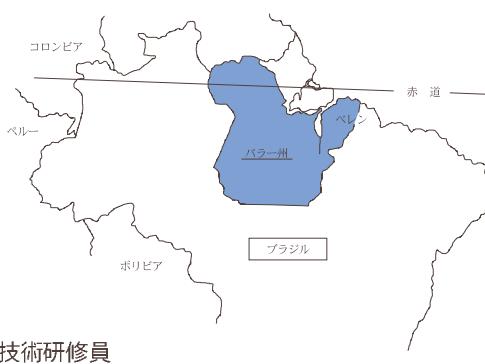
平成12年度は8ヶ国（ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ザンビア、フィリピン、ルーマニア、ホンジュラス、中国）から14人の研修員を6月からこの3月までの10ヶ月間受入れている。来道当初は気



道外研修（11月。京都、金閣寺で）



平成12年度北海道海外技術研修員  
**カヤチ フアリアス ヤマノウチ アレサンドラ**  
(Khayat Farias Yamanouth Alessandra)  
ブラジル共和国、パラー州ベレン市  
札幌医科大学（口腔外科）で研修中



### エコツアーオの“パラ”ーダイス

パラー州は、ブラジル最北部（赤道が北部を横断している）、アマゾンのど真ん中に位置し、面積は125万km<sup>2</sup>でブラジル国土の16.66%、アマゾン全体の26%を占めています。人口は600万人です。パラー州の自然は非常に変化に富み植物の種類も豊かで、ブラジルの生態系をすべて見ることができるほどです。また多数の河川が州全体を縦横に流れて2万km以上にも及ぶ水路網を形成し、およそ2万5千MW（メガワット）をパラー州に供給できる水力発電所を備えています。高温多湿の熱帯気候で、アマゾン地域特有の気候です。

私の出身地である州都、ベレン市

の建築物が今日に至るまで保存されていて、新旧の町並みが調和のとれた状態で共存しています。21世紀の近代的な都市生活の中にあっても、雨の中を散歩したり、川面に落ちる夕日を眺めたり、広場などをぶらぶら歩いたりと、この街では時間がゆっくり流れています。

大西洋に面するベレン市には、ビジネス街、レジャー観光施設、コンベンションセンター、博物館、映画館、そして世界でも稀な美しい河川ビーチパークなどがあります。アマゾン川とタバジョー川が合流するタバジョー市では、河川ビーチの美しい風景や、滝、森林や岩層が見られるほか、お祭りなどパラー州民にとって重要な文化

的イベントも行われます。マラジョー島では、アマゾン川河口を見ることができ、自然保護に関するアトラクションが数えきれないほどあります（例えば、パンタナール湿原でのシナリオ作りから「ポロロカ」～年に数回発生するアマゾン川の逆流体験にいたるまで）。

多数の河川、湖、ラグーン（潟湖）、海岸には様々な魚が生息しているのでスポーツフィッシングがとても盛んです。ブラジルでのスポーツフィッシングはきっと忘れる事のできない経験となるでしょう。湖やラグーンに加え、水質が汚染されていないアマゾン川の支流があります。タバジョー川、ニアムンダ川、トロンベタス川、シングー川、アラグアイアートカンティス川などです。

チュピーグアラニインディアンの方言で「川」という意味をもつパラー州は、川と関わりの深いところです。川は、道として生活に欠かせず、そして美しい観光資源になっています。以上がブラジル共和国パラー州の概要です。そこは、まさに「パラ」ーダイス」です。